

ニテコレモン炭酸水は
日本酒の割り材を想定して生まれた。
今夏から販売した日本酒カクテル
「にてこむらい」は
ニテコ名水庵で飲める。



あきた企業応援ファンド事業

地域再生を使命とする実務組織 新しい収益構造の確立を目指す

地方都市の中心市街地空洞化はどこでも待ったなしの深刻な状況。TMO(タウンマネジメント組織)として行政と住民が共有する想いで生まれた実務組織が、地域資源を生かしながら果敢に新しい収益構造を創り出していく。

地域再生の使命で設立された会社

現在の仙北郡美郷町の一角を成す旧六郷町地区は、清水の里として知られている。近年、中心市街地の空洞化が著しくなってきたことから、清水を活用した地域の再生が行われることとなり、その実務組織として平成11年に誕生したのが、資本金5千万円を六郷町と民間で折半出資した六郷まちづくり株式会社だ。中心市街地活性化法に基づくTMO(タウンマネジメント組織)という形態で設立された。

提案性ある新商品を起爆剤にする

この会社での多様な事業の一環として今春商品化にこぎ着けたのが「ニテコレモン炭酸水」だ。

旧六郷町には明治34年から製造販売されている“地サイダー”の仁手古(ニテコ)サイダーがあり、現在はその製造販売が六郷まちづくり株式会社に引き継がれている。ニテコレモン炭酸水は、仁手古サイダーの生産ラインと製造ノウハウから生まれた“派生商品”である。

旧六郷町には3軒の造り酒屋があり、町内産日本酒の消費拡大を図る意図もあって、日本酒を炭酸水で割って飲む飲料はもとより、“日本酒ベースカクテル”の割り材としてもニテコレモン炭酸水は企画された。

六郷まちづくり株式会社

〒019-1404
秋田県仙北郡美郷町六郷字馬町83
Tel. 0187-84-0020
Fax. 0187-84-0030
<http://rokugo.net/>

現在は会社が運営する飲食施設「ニテコ名水庵」で「にてこむらい」というカクテルの名前で販売されている。今後は他の飲食店での展開も考えている。

ニテコレモン炭酸水の商品開発にあたっては、あきた企業応援ファンド事業を利用している。関わってもらったコーディネーターへの指導料や製品試作費用、チラシ、パンフレットの制作費に活用した。

生産財を活かして収益拡大を図る

“地サイダー”メーカーはかつては各県ごとに数社単位であったものだが、秋田県では現在は同社のみ。そんなこともあって、「手づくり工房湧子ちゃん」の施設内にあるサイダー・炭酸水の生産ラインは比較的小規模ながら、山形県の“地サイダー”メーカーなど他社からのOEM生産の要請もしばしば舞い込む。それが六郷まちづくり株式会社の貴重な収入源にもなっている。

「炭酸水は美容効果を謳って女性層にアピールする販売手法もあります。当社もそれに倣って販路を拡大していきたいと思っています」(伊藤毅取締役)。



- 1 「ニテコ清水」に隣接するニテコ名水庵、手づくり工房湧子ちゃん。
- 2 オフィスのある名水市場湧太郎で事業内容を紹介する伊藤毅取締役兼所長。
- 3 仁手古サイダーの生産ラインでは他社製品のOEM生産も手がけている。
- 4 手づくり工房湧子ちゃんは野菜や漬物などの販売と加工品製造工場が一体になった複合施設。

事業の解説

あきた企業応援ファンド事業

地域資源を活用した県内企業の新商品・新役務の開発、販路拡大等の経営革新の取組を支援します。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター／経営革新・設備資金担当まで。